

TIM CONGDON

- One of the UK's leading economists

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Tim Congdonはエコノミスト兼ビジネスマンであり、イギリスの公共政策論争において30年以上にわたり健全な資金と自由市場を強く支持してきました。彼は一貫してお金と銀行業の重要性をマクロ経済の結果に訴えているため、英国の経済政策決定において物議を醸している。

ティムは1989年に経済調査コンサルタント会社ロンバードストリートリサーチを設立し、その後2001年までマネージングディレクターを務めました。彼は1992年から1997年にかけて独立予測機関の財務委員会（いわゆる「賢人」）のメンバーでした。経済政策に関する検閲官首相に助言。

ティムはカーディフビジネススクールとシティ大学ビジネススクール（現在はキャスビジネススクール）の客員教授を務めています。

彼の最新の作品は、CSFI（金融イノベーション研究評議会）とロンバードストリート・リサーチが、自由社会における中央銀行に関する短い本（約5万語）を出版した、後退の終わり方に関するパンフレットです。主に2007年と2008年の銀行危機への対応で、2009年に経済研究所によって発表されました。

Timの長期プロジェクトは、近代経済における貨幣に関する本です。それは、中央銀行と商業銀行システムを備えた経済がどのように機能するかについての彼の見解をまとめることです。

2008年5月以来、彼はStandpointマガジンの経済特派員であり、長く自己宣言されているEuro-scepticです。2011年1月にティムは本部になりました。自由協会の会長。彼は改革諮問評議会に所属しています。

Topics

- Economics
- Finance
- Government
- Politics